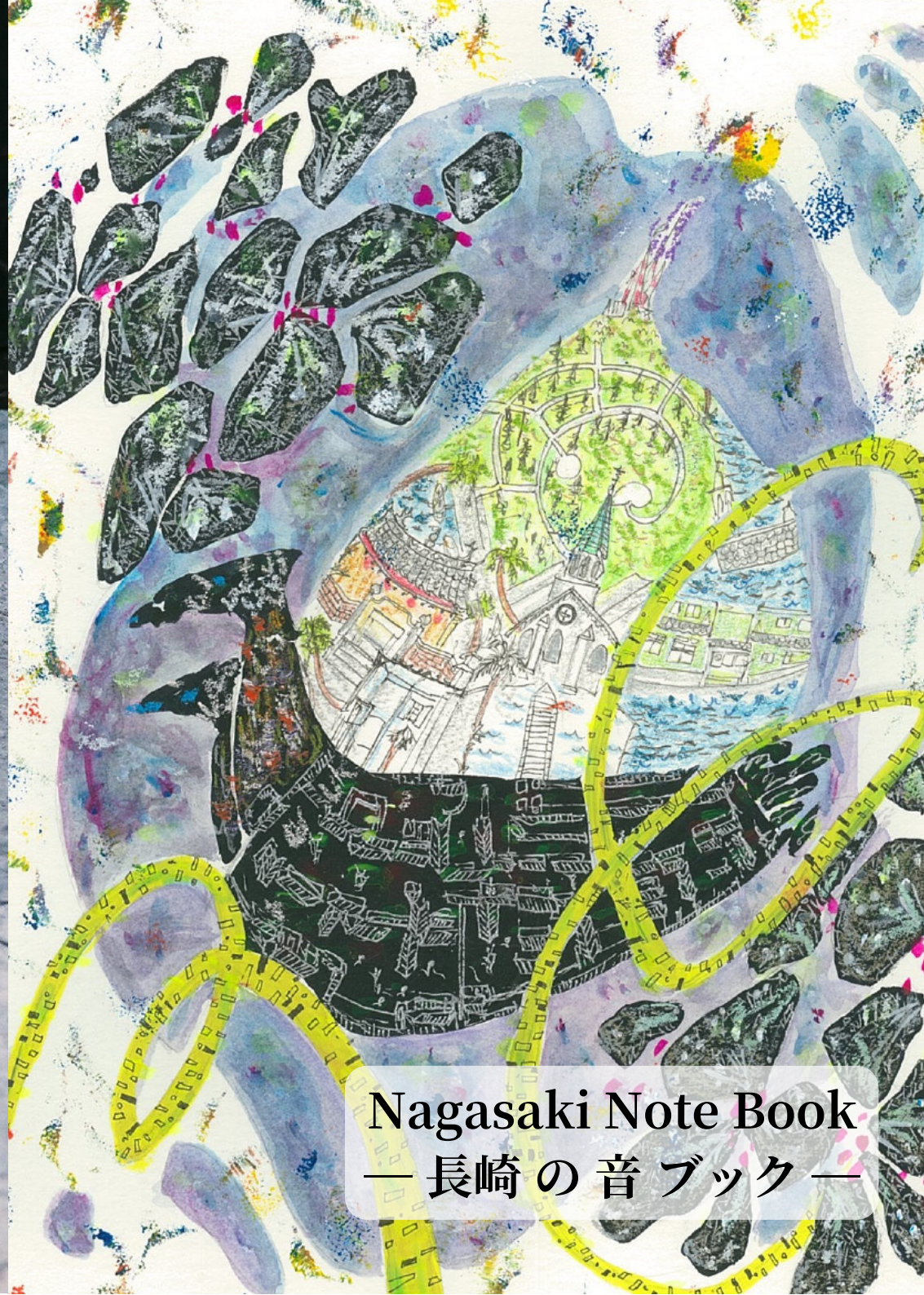




長崎伝習所  
地域芸術を愛でる塾



Nagasaki Note Book  
— 長崎の音ブック —



# 目次

塾長挨拶……04 P

塾の紹介……05 P

塾活動のこれまで……06 P

えんそう場所紹介・冊子の見方……07 P

えんそう場所紹介

水辺の森公園（森の劇場）……08~09 P

茂木（月と海mog）……10~11 P

東山手「地球館」……12~13 P

長崎市役所（多目的スペース）……14~15 P

教宗寺……16~17 P

勉強会報告……18 P

吉生寛「設計者が捉える表現空間—内と外、余白、場のカー」

研修旅行報告……19 P

編集後記・活動写真……20~21 P

# 「地域芸術を愛でる塾」とは？

## ○長崎での芸術の可能性を一緒に考える

「長崎」という異国情緒あふれる街並みや建物・空間は芸術との親和性も高いはず。そんな空間を「芸術表現の場」として捉えたとき、どの様に活かされるのか、現地に伺いながら一緒に考えます。

## ○音楽や芸術のイベント・文化が どのように実施されているのか共に学ぶ

様々な企画を実施する上で、どんな準備や配慮が必要なのか。前例や他地域の芸術振興を参考に、先輩方の経験を学ぶ機会を持ちます。

## ○地域のアートを地域で愛する 文化・環境を創るきっかけづくり

塾生や関係する方と一緒に学んだり、教えていただくことで、地域の中で生み出される表現やその活動が地域に愛されるきっかけを創ります。より多くの方に芸術表現の可能性を届けることで、長崎の暮らしのすぐそばで芸術が楽しめることを伝えていきたいという想いです。

## <地域芸術を愛でる塾 塾生について>

伝習塾の募集に際し、応募して下さった長崎市在住・通勤通学の一般の方が塾生となっています。20代～70代までの幅広い年齢層で、みなさん「芸術」に興味があり、作詞家志望、アーティスト、油絵経験者、建築設計関係など経歴も様々です。



地域芸術を愛でる塾

## 塾長挨拶

塾長…青柳智子

まず、この「Nagasaki Note Book - 長崎の音ブック -」を手にとっていただきありがとうございます。

「長崎って、なんか物足りない…」

3年前、東京から故郷長崎に帰ってきた私が最初に思ったことです。

それは「生活の中でふと飛び込んでくる音楽やアートの乏しさ」。

長崎は魅力的な街の風景や営みがあるのに、それを生かした表現活動が極端に少ないように感じたのがこの塾を始めたいきっかけです。

1年間、塾生と共に長崎の魅力的な「街」の中で芸術表現ができる場所を探し、フィールドワークや勉強会を重ねてまいりました。

コンサートホールやライブハウスに限らず、

日々の暮らしの傍に地元のアーティストによる表現活動があること。そしてそれが地域の方々によって愛され、広がっていきますように。

そんな想いを込めて、この冊子をお届けいたします。



# 塾活動のこれまで

## < 主な活動内容 >

### ○ フィールドワーク

(合同フィールドワーク2回、その後各自)

アーティストが芸術・表現活動をするにあたって、

- ・表現活動の場を目的の1つとしているが、活用に伸びしろがある施設
  - ・元々は芸術・表現活動の場としての利用は考えられていなかったが、活用に課題があり、今後の可能性を模索中の施設(例：飲食店、洋館、公共施設、お寺など…)
- をピックアップし、施設の特徴・企画をする際の留意事項等について調査・分析を行いました。

### ○ 講師を招いての勉強会(9月11日)

「表現の場」として施設設計の視点から、出島メッセの設計に携わられた吉生寛さんを講師にお招きし、勉強会を実施いたしました。

### ○ 先進地域への視察(11月23日)

「芸術×まち」の観点で地域活性化の取組みに力を入れる佐賀県に視察旅行へ行きました。

### ○ 冊子制作・情報発信(月2回ほど定例ミーティングを中心に)

フィールドワークや活動の記録をSNSや冊子にまとめ、より多くの方に塾活動とその成果をお届けできるよう取り組みました。

## < 活動の記録 >

#### 2022年5月

開塾、顔合わせ、フィールドワークについて @市民活動センターランタナ

#### 2022年6月

水辺の森公園(森の劇場)フィールドワーク

#### 2022年7月

冊子制作について @東山手町地区並み保存センター

#### 2022年8月

茂木フィールドワーク

#### 2022年9月

吉生寛さん勉強会「設計者がとらえる表現空間 内と外、余白、場の力」@出島メッセ

#### 2022年10月

中間報告会、冊子制作に向けた準備、各自フィールドワーク

#### 2022年11月

研修旅行 @佐賀大学、Nogi、旧枝梅酒造、わいわいコンテナ

#### 2022年12月~2023年2月

冊子制作、各自執筆





**えんそう 場所紹介**

取材・執筆：大草一俊 Kazutoshi Okusa

大浦海岸通りに面し、水辺の森公園沿いの運河に囲まれた扇状地のスタンドです。レストランやオフィビルが隣接しています。そのため大きな音は差し控えられるのが良いでしょう。

08



**えんそう 場所紹介**

取材・執筆：月と海 波まち食堂 mog ~茂木エリア~

高級感から想像し難いような建物です。昔ながらの建築が漂っていて、新鮮な空気を感じることが出来ます。壁から音が伝わるので、気分転換にもなります。自然・音楽・音響を同時に楽しむことが出来る。アート空間を兼ねています。近くには海鮮市場もあり、ショッピングも出来ます。

そんな素敵な場所を調査しておきたいですか？

09



**えんそう 場所紹介**

取材・執筆：大草一俊 Kazutoshi Okusa

大浦海岸通りに面し、水辺の森公園沿いの運河に囲まれた扇状地のスタンドです。レストランやオフィビルが隣接しています。そのため大きな音は差し控えられるのが良いでしょう。

08



**えんそう 場所紹介**

取材・執筆：月と海 波まち食堂 mog ~茂木エリア~

高級感から想像し難いような建物です。昔ながらの建築が漂っていて、新鮮な空気を感じることが出来ます。壁から音が伝わるので、気分転換にもなります。自然・音楽・音響を同時に楽しむことが出来る。アート空間を兼ねています。近くには海鮮市場もあり、ショッピングも出来ます。

そんな素敵な場所を調査しておきたいですか？

10

# えんそう 場所紹介 ~ introduce ~

今年度は「音楽」を軸に、コンサートホールやライブハウス以外にもアーティストが演奏・パフォーマンスの披露ができる可能性がある施設を調査しました。いずれも、「地域芸術を愛する塾」の塾生が現地までフィールドワークを行い執筆し、まとめたものです。

次ページ以降、以下の留意事項や見方を参考にご覧ください。

※演奏・表現の場としてイベントを企画する際は対象の施設の方と事前によくご相談・お打ち合わせください。

※本来は「演奏表現」を目的に設置された施設ではない所がほとんどです。→防音等の設備を整えていない場所もありますので、音量や時間帯など、施設そのものや近隣住民へのご配慮をお願いします。

※利用料金等は各自お問い合わせください。→ほとんどの施設が、明確な利用料金を設けていないとのことです。企画の内容・目的・季節、また施設の利用時間によって変動することがありますので、施設のご担当者へ直接お問い合わせいただき、ご相談ください。

開放的なステージで  
大きく、はばたこう。



# えんそう 場所紹介

長崎水辺の森公園  
森の劇場  
～バイエリア～

取材・執筆：大草一俊 Kazutoshi Okusa

大浦海岸通りに面し、水辺の森公園沿いの運河に面した階段状のスタンドです。レストランやオフィスビルが隣接しています。そのため大きな音は差し控えたほうが良いでしょう。

## Information

住所 〒850-0843 長崎県長崎市常盤町1-60  
電話番号 長崎水辺の森公園 管理事務所  
095-818-8550  
施設概要 収容人数：50~100人  
ステージの広さ：15×3m  
電源：有り（100V30AW コンセント3ヶ）  
控室：無し  
アクセス 長崎電気軌道 メディカルセンター電停すぐ



↑ Map



# えんそう 場所紹介

月と海  
波まち食堂 mog  
～茂木エリア～

## 取材・執筆：鶴田桃子 Momone Tsuruda

長崎駅から20分程度しか離れていないにも関わらず、昔ながらの雰囲気  
が漂っていて、新鮮な空気を胸いっぱいに行うことができます。窓から海が  
見えるので、気分転換にもなります。自然・食事・音楽を同時に楽しむことが  
でき、アートの展示もされています。近くには裳着神社もあり、ちょっとした  
観光が楽しめます。

そんな素敵な場所で演奏してみませんか？

## 海が見える くつろぎ演奏スペース



### Information

住所 〒851-0241 長崎県長崎市茂木町2190-7

電話番号 095-836-2920

施設概要 月と海 受付時間8:00~22:00

波まち食堂mog 18:00~22:00

HP <https://tsuki-to-umi.com/>

Instagram @namimachi\_mog

アクセス 長崎駅から約20分（無料の専用駐車場あり）

長崎駅からバスで約25分、茂木バス停より徒歩10分



↑ Map



# えんそう 場所紹介

東山手「地球館」  
～居留地エリア～

**取材・執筆：山脇理奈 Rina Yamawaki**

明治時代に外国人の賃貸住宅として建てられ国際交流を体験できる場としても25年ほど活用されてきた。2022年12月2日にcafe slowとしてリニューアル。現在はcafe営業をしていく中で地域や観光の面でも新拠点となっています。眼下には孔子廟もあり、異国情緒溢れる雰囲気も感じられる心落ち着く場所です。

## 異国情緒あふれ、 心落ち着く安らぎの洋館



### Information

住所 〒850-0911 長崎県長崎市東山手町6-25

電話番号 095-822-7966

施設概要 開館時間：10:00～17:00 水曜日休館  
(金・土曜日は20:00まで)

収容人数：30名、1・2階ともにスペースあり

電源：有り

アクセス 長崎電気軌道 石橋電停 徒歩3分  
駐車場無し



↑ Map



# えんそう 場所紹介

長崎市役所  
多目的スペース  
～まちなかエリア～

取材・執筆：島田和文 Kazufumi Shimada

令和5年1月4日にオープンした長崎市役所新庁舎の2階にある164席の多目的スペースです。建物が新しく、広さも十分なので、気分よく演奏ができることに加え、市民会館と電車通りをはさんで真向かいと便利な場所にあるので、市民の皆さんも鑑賞しやすいと思います。ただし、防音機能のある施設ではないので、弦楽器などの生音のコンサート向けです。コンサートをきっかけに、親近感が生まれ新たな魅力が引き出されるのではないかと思います。ぜひ、気軽に利用してもらえたらと願っています。

## アクセス良好

## 気軽に笑顔で行ってみよう



### Information

住所 〒850-0874 長崎県長崎市魚の町4-1 2階

電話番号 095-822-8888

利用可能 平日：午後6時から午後9時30分

休日：午前9時から午後9時30分

※ただし、長崎市の業務・事業に支障がない場合

施設概要 収容人数：164席 / 電源：有り

HP <https://www.city.nagasaki.lg.jp/syokai/>

792100/792100/p039767.html

アクセス 長崎電気軌道 市役所電停から徒歩1分



↑ Map





## 地域と密着

## 荘厳なお寺で広々演奏



# えんそう 場所紹介

教宗寺 / GOKOU  
～東長崎エリア～

### 取材・執筆：青柳智子 Tomoko Aoyagi

江戸時代から続く、シーボルトも訪れた由緒あるお寺ですが、門徒さんに限らず広く開かれた場所となっています。地域との関りも大きく、普段はマルシェイベントやヨガなども実施しているそうです。

また、近くには「GOKOU」という門徒会館もあり、参加者を限定したイベントなども実施できます。イベントを企画する際は、あくまでも祈りの場であることを覚えていただき、宗教の勧誘などは控えましょう。

### Information

住所 教宗寺：〒851-0133 長崎県長崎市矢上町41-7

GOKOU：〒同上 長崎市矢上町40-25

電話番号 095-838-2707

施設概要 利用可能：10時～20時(撤収まで)

収容人数：教宗寺50人程度

GOKOU20人程度

電源：いずれも有り / 控室：有り

Instagram @kyousouji

アクセス 矢上バス停より 徒歩10分



↑ Map

## 【勉強会報告】

# 設計者が捉える表現空間

## - 内と外、余白、場の力 -

2022.9.11 講師 吉生寛先生

地域芸術を愛でる塾の勉強会として建築家の吉生寛先生にお越しいただき、ご自身が設計に携わった施設、また音楽など表現をする場として興味深い施設のご紹介を交えてご講演をしていただきました。

福岡国際会議場をはじめ、府中芸術の森ウィーンホール、かごしま環境未来館、熊本駅ビル、屋久島環境文化村、ソラリア西鉄ホテル京都、九電工アカデミー朋学庵、出島メッセなど数々の施設を解説してくださいました。

お話の中で印象的だったのは、府中芸術の森のホールについてです。

シューボックスという四角の箱型になっていることで音が均一に伝わり、壁面を凸面にする事で音が豊かになるということでした。またピアニストのハニヤ・ラニ(Hania Rani)さんが、パリの歴史的建造物の1つ、ナポレオンが眠るアンヴァリッドにて屋外コンサートを行った際の映像をご紹介いただき、外であっても中庭のように周囲に建築物があるとシューボックスの役割になることを知りました。このように音楽の演奏のために設計された建物や音楽のためでなくとも効果的なつくりになっている建物、どれも興味深い内容ばかりでした。

ご講演後には、設計にも携わっていらっしゃる出島メッセの稲佐山プロムナードでフィールドワークを行いました。こちらも言うてみれば屋外シューボックスのようなつくりで稲佐山にフレームをつけたように見える景観や吹き抜ける風が心地よく、音楽の表現の場として活用されるのもいいのではないかと思います。

今回のご講演を受けて、屋内外に関わらず場の力や可能性、面白さを建築家さんの視点で学ぶことができ、今後の塾活動でもこの知識を役立てながら長崎の街の可能性を探っていきたいと思いました。

(報告：山脇理奈)



## 【研修旅行報告】

# 佐賀大学/旧枝梅酒造(edaume)/ 656広場/わくわくコンテナ

2022.11.23

11月23日に行われた研修旅行では佐賀へ足を運び、限られた時間の中で地域芸術について理解を深めました。

最初に訪れた佐賀大学にある美術館では常時展覧会が開催されており、佐賀大学に通う生徒の作品も観覧することができます。佐賀大学にある芸術地域デザイン学部では、芸術を通して地域の活性化や国際化を目指しており、芸術的な視点が求められる場で必要とされる手法や感性を磨くことができます。実際に芸術地域デザイン学部にも所属されている宮崎さんにお会いし、普段の授業や地域と芸術の繋がりについてお話を伺い、意見交換を行いました。

次に向かった場所は、旧枝梅酒造です。

枝梅酒造の歴史は長く、明治・大正・昭和・平成と続きましたが2009年に事業を停止し、その後「佐賀市」と「NPO法人まちの根太」により、当時の姿を残したままシェアアトリエ・イベントホール・休憩所・料理屋などに生まれ変わりました。営業当時に使われていた物が今でも保管されており、その姿と雰囲気は圧巻でした。「NPO法人まちの根太」が管理する西の蔵と東の蔵では、展示会やコンサートが行われています。

この日行われていた森正彦さんの個展「FUN FUN FUN」xKOTODAMA ARTは、廃材を使用したオブジェと『書』のコラボレーションで、芸術を身近に感じることができました。

最後に訪れた656広場では、コンサート・ダンスショー・マルシェ・ふれあい交流などが行われており、普段は地域住民の憩いの場になっています。しっかりとした音響設備があり、雨天時の対策もされているため、イベントには最適な場所です。近くにはカフェや読書コンテナがあり、ゆったりとした時間を過ごすことができます。

長崎とは違った風景や建物は、地域と芸術の繋がりを広げていく上で新しい刺激を与えてくれました。特に旧枝梅酒造は、アート展示やコンサート開催のために工夫がされており、アーティストに寄り添うことができる素敵な場所だと感じました。

また、佐賀は温かい方ばかりで、研修旅行をする中で色々なことを教えていただきました。地域に愛される施設があり、人の温かさがあるからこそ、地域と芸術の繋がりが深いのではないかと思います。

長崎でも、もっと芸術を身近に感じることができるように、今後も芸術を愛し、広める活動に関わっていきたいと思いました。

(報告：鶴田桃子)



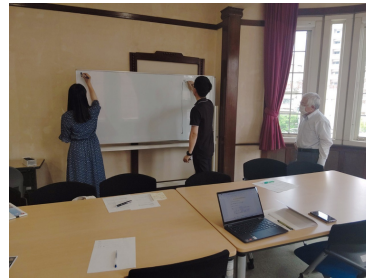
# 編集後記

# 活動写真



塾生の皆様と共に活動でき、感謝でした。

冊子で紹介した場所以外にも、長崎には表現活動の場として可能性に満ちたところがたくさんあります。いわゆる「ハコ」に囚われず、自由な発想で芸術表現が広がっていくことをこれからも期待しています。  
(青柳智子)



表現ができる場があり、それが街の魅力の1つとなる。そういう視点で長崎をみつめていきたいと思いました。  
(山脇理奈)



長崎の街並みと芸術の両方を活かせる工夫をしていきたいと思いました。  
(鶴田桃子)



斜面都市長崎ならではの響きあう音の風景を再発見しました。  
(大草一俊)



長崎市役所の新庁舎が今年(令和5年1月)開庁しました。建物が高く、遠くからでもどこにあるかすぐにわかります。交通の便もいいので用事がある時など便利だと思います。2階には多目的ホールと会議室があり、市民の皆様にも利用されやすいと思います。親しみやすい市役所になればいいのではないかと思います。  
(島田和文)



# Nagasaki Note Book

## - 長崎の音ブック -

発行団体：地域芸術を愛でる塾

発行日：2023年3月18日

印刷：川口印刷

デザイン：池上意匠、青柳智子

表紙：山脇理奈

執筆：青柳智子、山脇理奈、鶴田桃子、島田和文、大草一俊

Special Thanks：

長崎伝習所 委員の皆様、事務局池田さま

地域芸術を愛でる塾事務局&長崎市文化振興課 下川耕太郎さま  
吉生寛さま

佐賀大学芸術地域デザイン学部 宮崎小春さま

川口印刷 森山菜美さま

塾生 林幸之さま、柳田峻典さま、脇浜未紀さま